# 鹿市医郷壇

## 508 樋口 一風 選

### 兼題「娘（おごご）」

**天**

伊敷支部 **谷山五郎猫**

**笑顔ん良か娘ん愛想が罪む作っ**

（唱）俺い気があっち男あ大騒動

（評）男性は若い女性の笑顔に弱いのです。ましてや美人が愛想よくすれば、もしかして俺にも脈があるのではと、いらぬ下心が動きます。

この娘さんに何人かの男が虜になったのでしょう。まことに罪作りな娘さんです。でも、この娘さんの責任ではありません。「罪む作っ」が効いています。

**地**

紫南支部 **二軒茶屋電停**

**よか娘を娶ろたつもいが今ん女房**

（唱）我がも歳しゅ取っ老人じゃいこて

（評）「今ん女房」はどういう意味か分かりませんが、何でも時がたつと、変化するのは当たり前のことで、経年劣化ということもあります。美しかった肌も歳とともに衰えてきます、何十年前の美貌を、今も保てというのは無理というものです。美しい奥様なのに、自分の歳も考えましょう。

**人**

上町支部 **吉野なでしこ**

**よか娘も母いなったや強よけなっ**

（唱）子育しと繰い鍛えた根性

（評）確かに「母は強し」です。細かった体型も妻から母になりにつれ逞しくなってきます。一家を支える為には相当な苦労もあるでしょう、それを乗り切るには、強くないと生きていけません。今回の兼題は「娘」です。「地」もこの句も娘以後を詠んでいます。出来れば「娘」を詠んでいただきたい。

五客一席 清滝支部 **鮫島爺児医**

**好っな娘も嫁め行た後は只ん人**

（唱）惚れちょったとが嘘んごっあっ

五客二席 伊敷支部 **谷山五郎猫**

**可愛ぜ娘い法螺を吹っ込だ馬ん骨**

（唱）金持っじゃっで嫁御いなれち

五客三席 清滝支部 **鮫島爺児医**

**可愛ぜ娘も八十歳過ぎたや増えた小言**

（唱）世帯を繰い方て難儀をしたで

五客四席 **印南 本作**

**照れ笑れで二十歳の娘と祝い飲ん**

（唱）若け時の女房けそっくいの所作

五客五席 上町支部 **吉野なでしこ**

**よか娘いニコッされたや揺るん財布**

（唱）女性い弱えでれでれけなっ





## 秀逸

清滝支部 **鮫島爺児医**

**近頃は田舎けも美人の娘が居っ**

**終電車娘を送って淋しゅなっ**

**一人娘が良か養子す連れっ帰っ来っ**

**良か娘ん踊いにじゃろか花が飛っ**

**評判の娘が醜男ん嫁め嫁たっ**

**友人の娘食事じ誘たや娘四人**

上町支部 **吉野なでしこ**

**娘女連数が増えたや逞し態**

伊敷支部 **谷山五郎猫**

**頑固者が涙目めなった娘ん歌**

**薩摩郷句鑑賞** 147

薩摩狂句暦

**娘ん声やっぱいじゃった金の詐欺**

**久保 南天**

年寄りや主婦などから、虎の子を言葉巧みに出させた豊田商事の商法は、誠にあくどいやり方だった。払い戻しの見込みもないとなれば、結局被害者は、泣き寝入りという気の毒なことになる。

かといって、その相手を殺してもよいというものではあるまい。その永野豊田商事会長刺殺事件の判決が言い渡される日であった。

**三度目あさすが島田じゃ嫁こたせじ**

**川崎黒じょか**

結婚生活がうまくゆかずに、いわゆる「出戻い」（でもどい）の女性が再婚することになった。ところが、初婚の時のように高島田を結ったので、周囲の人々は陰口を言ったのであろう。

ところが、再婚もうまくゆかずにまた戻ってきたのである。そして、三度目の結婚をすることになった。人々は「また島田でいくだろう」と噂したのだが、「さすが三度目は」結わなかったのである。高島田を結おうと構わないのだが、うるさいのは世間の口である。

### 薩摩郷句募集

**◎5号**

題 吟 「灰汁粽（あっまっ）」

締 切 令和4年4月5日㈫

**◎6号**

題 吟 「精一杯（せっぺ）」

締 切 令和4年5月6日㈮

◇**選 者 樋口 一風**

◇漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあてててくださいます。

◇応募先 〒八九二―〇八四六

鹿児島市加治屋町三番十号

鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係

TEL ○九九―二二六―三七三七

FAX ○九九―二二五―六○九九

E-mail：ihou@city.kagoshima.med.or.jp